

1. 授業の概要(ねらい)

東アジアやヨーロッパの国々の多くでは少子化とそれに伴う高齢化が進行しており、一方でサハラ以南のアフリカ諸国では依然として高い出生率が続くなど、世界の人口動向は多様である。人口の動向は、国の経済・社会に大きな影響を与えることから、様々な立場から人口に関する研究が行われてきている。その中には、国際人口移動の問題、国内における都市化などの問題も含まれる。

この授業は、地域人口論の立場から、これら人口現象を分析するための基本的な方法を学ぶとともに、受講者が、自ら設定した人口に関するテーマについて分析・研究を進めることを目的とする。春期には、受講者の関心を踏まえて選定した日本語あるいは英語の学術論文の講読を中心に、人口の研究方法を学ぶ。さらに、秋期には、修士論文作成も念頭に置きつつ、受講者が特定の国や国内の地域の人口、あるいは国際比較の観点からテーマを決め、それに関連する日本語あるいは英語の文献の講読や討論を通じ、修士論文作成に向けた準備をしていきたい。

2. 授業の到達目標

- ①地域人口論における基本的な概念、方法を修得するとともに、それらの方法を実際のデータに適用できる。
- ②自分が問題意識を持つテーマについて、文献収集、分析などを行う能力を高める。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業における講読論文の理解度が50%、討論への状況が50%、という割合で評価する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

講読する文献の指定された部分を、あらかじめ丁寧に読み、予習しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

講読する論文の内容について、受講者が自ら説明することを採り入れる形で、授業を進める。なお、地域人口論に関する予備知識は、特に必要ない。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方の説明、受講生の関心のあるテーマの確認<オンライン授業>
- 【第2回】 選定した日本語論文の講読と討論
- 【第3回】 選定した日本語論文の講読と討論
- 【第4回】 選定した日本語論文の講読と討論
- 【第5回】 選定した日本語論文の講読と討論
- 【第6回】 選定した日本語論文の講読と討論<オンライン授業>
- 【第7回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第8回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第9回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第10回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第11回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第12回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第13回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第14回】 選定した英語論文の講読と討論
- 【第15回】 春期授業のまとめ